



北斗句会

一月定例会（八日 偕行社） 兼題「初」「枯」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

特選 富士と競ひあげくの果ての枯すすき 大崎石州

支え合ふ絆しみじみ除夜の鐘 太田黒幸風

庭手入れ焚火に菊の香りかな 大森康政

宣告の余命冬至の過ぎにけり 竹内雲泉

存分に母の味なる味噌雑煮 田中資凡

特選 二度もまあ五輪近づく老の春 長池豆陽

特選 氏神の石段高し大旦 深見十萬

然はされど蜜柑のすじをとりながら 藤田紀潮

元気なり俺もお前も枯すすき 宮下ひかる

初日射す三河路雲のひとつなし 森田光彦

定位置のホームで迎ふ初電車 山縣秀雄

餅つきの庭や壺中の天地めく 吉岡誠山



寒北斗かはたれ時の点と線 石田きよし